

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年11月20日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 11月 霜月 November 第23号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 令和5年1月1日からの成長 】

11月20日です。今年の秋は？夏から冬になったような気候で体調を崩しがちの人が増えてしまいましたが、定期考査や、行事に向けて、体調をコントロールできるよう睡眠時間をしっかり取って、バランスの良い食事をしっかりとりましょう。

さて、あと1ヶ月と少しで、2学期が終わり、令和5年が終わります。今年を迎えた1月は小学生だった1年生。1年生だった2年生。2年生だった3年生。11ヶ月という時間で、成長したことはなんでしょう？できるようになったことは、いくつありますか？時間は、誰にも平等に与えられています。時間を生かすも、ただ流れただけにするも、自分自身です。時々立ち止まり、自身を見つめたり、社会を見つめたりの時間も大切ですが、なんととっても中学生は、忙しい。でも、決して心を亡くさぬよう短期目標を立てながら目の前のことをひとつひとつこなしていかないと自分を見失ってしまう。中学生は、小学生と違って、卒業後の生き方は自由で



です。自分で選ぶことができます。つまり、自分の生き方を自分で選べるのです。学校という場所でしかつけることができない力をつけて、社会の中で自分の良さを生かして、他者と共に力を合わせて未来を創る人になってほしいのです。一番大切なことは、自分を大切に、自分の幸せを自分でつかめる人になってほしいということです。3年生は、あと1ヶ月もしないうちに進路決定の時期が来ます。自分が過ごす次のフィールドで、何がしたいか？どうありたいか？をよく考えて、決めるのですよ。周りが、友達が、家族が、

ネームバリューが、、、。いろんな事を考えていると思いますが、自分自身が過ごす場所ですから最後は自分で決断してください。そして、自分で決めた事に責任をもって頑張ってもらいたいのです。人生は、分かれ道の選択の繰り返しです。1年生も、2年生も、3年生と同じように自分の人生を選ぶ日が来ます。3年生になったらではありません。体育大会、学習発表会、わくわくオーケストラ、トライやる・ウィーク、校外学習などの行事を通して、自分自身や仲間、他学年の『キラリと光る荒中生の個性、素敵な一面』をひとつでも多く見つけて、お互いを認め合い、高め合える荒中生です。受験は、団体戦。ひとりじゃない。仲間がいる。先生がいる。様々な行事を通してつけた力を自信に『目の前のことに、全力で取り組み、自分自身で一步一步成長できる』荒中生でいてください。『心は形、心は行動です』

